



南校だより

令和8年1月8日（木）

中津川市立南小学校

No. 12

あけましておめでとうございます

新たな決意をもって成長しきる3か月に

校長 中村 行雄

学校に子どもたちの元気な声が戻り、いよいよ令和7年度の締めくくりとなる3か月がスタートしました。

さて、よく「一年の計は元旦にあり」と言われます。物事を始めるにあたって、最初にしっかりと計画を立てることが大切であることを教えてくれる言葉です。子どもたちには、この節目の時期に「○○ができるようになる！」という自分なりの目標を立てほしいと願っています。冬休み前の集会では、節目にしっかりと自分を振り返る力を付けてほしいと子どもたちに話をしました。加えて、その節目節目の振り返りが夢を叶えていく大切なステップになることも話しました。その振り返りをもとにして自分なりの目標を具体的にもってほしいと思います。

私には5人の孫がいます。一番上は小学校2年生、その下が小学校1年生、年中、3歳、1歳となります。普段は一緒に生活はしていませんが、年末年始はおじいちゃんたちに会いに来てくれます。小学生の2人は冬休みの宿題として、縄跳びがあります。「縄跳びカード」が学年ごとに配られていて、その内容はスマールステップでだんだんと難しい技に挑戦できるようになっています。前跳び10回から始まり、二重跳び5回までという感じです。小学生の2人の孫はひとつずつ技をクリアしながら頑張っていました。スマールステップで目標を目指していくことが子どもたちには大切であることがわかりました。

残り3か月の目標は、大きな目標でなくてもいいのです。「毎日漢字練習を1ページ取り組む」、「自分から先に挨拶をする」など、具体的で、少し頑張れば手が届く目標をもつことが、日々の生活に「意味」と「意欲」を一層与えてくれます。さらに、自分が決めた手が届きそうな目標に向けて頑張ることや時には他のやりたいことを我慢することは、これから子どもたちが大人になっていく過程において、きっと子どもたちを助けてくれる力になります。

このように、できることを増やしていくことが、子どもたちの確実な成長につながります。現在12歳の6年生の子どもたちは、6年後には18歳になり選挙権をもち、大人として責任のある行動を求められるようになります。そして、その過程で自分の進路を選択しながら夢に向かって進んでいくのです。そのためにも、自分の目標をもって努力し続け、できることを増やしながらしっかりと成長できる力を身に付けてほしいと願っています。

ご家庭でも、お子さんがどのような目標を立てたのか、ぜひ話題にしてみてください。そして、子どもたちのできたを増やす頑張りを私たち教職員も全力で応援してまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひします。